

幼稚園における情報教育環境整備

村本 宙

本研究は、小学校の1人1台情報端末のリプレースのタイミングで、その情報端末を活用し、幼稚園で1人1台端末を安全安心に活用できるような環境を整備することを目的とする。

背景

徳島県海陽町では、2016年から町内の全学校で無線LANを整備した上で、先行的に私の母校である海部小学校でiPadの1人1台導入をしていた。その結果、小学校での活用で、学習の質があがったり、教員の負担の軽減の効果がみられた。そこで、小学校の端末リプレースのタイミングで、小学校への接続をスムーズにすることを目的に、小学校で使っていたiPadを幼稚園で活用することを考えた。本研究では、幼稚園で幼児が安全・安心に情報端末を使う環境を実際に整備する。

課題

幼稚園で1人1台情報端末を整備するにあたっての課題を、海陽町教育長、海陽町教育委員会、海部小学校教諭、幼稚園教諭からヒアリングをしたところ、

- ① 幼稚園児が情報端末を壊すことなく安全安心に使えるか
- ② 幼稚園において1人1台情報端末を整備する必要性に関する保護者の理解が得られるか
- ③ 安全安心に使うための管理体制を整備できるか
- ④ 先生のリテラシーが伴うか

といった4点の課題があげられた。

研究内容

4つの課題を解決するための方策を各課題に応じて策定し、実際に実行した。

① 幼稚園児への貸与式、説明会の実施

海陽町全体で4年間で5台程度の故障しかない。その理由に入学時にタブレット貸与式と利用説明会の機会があることがある。そこで今回は私が幼児一人ひとりに情報端末を手渡しする儀式と情報端末利用の体験会を実施した。



② 保護者説明会

私が講師となり、保護者に情報端末の必要性、メリット/デメリット、リスクに対する具体的な対処方法を説明した。質疑応答にも応じた。



③ 安心安全に使うための管理体制の整備

幼稚園児が使う全員分のタブレットのフィルタリング設定をした。またアプリの選別をしインストールした。また遠隔でモニタリングできるように設定した。



④ 先生のリテラシーワークショップ

私が講師となり幼稚園の先生を対象としたICTリテラシー講座を実施した。その際に先生たちが利用のイメージを持てるようにアイデアソンも実施した。



結論・考察

端末は今のところ故障も起きていない。保護者説明会後のアンケートをみると、幼稚園児は早すぎるのではないかと声も3割ほどあったが、情報端末の導入に関して理解が得られたと考えている。また幼稚園の先生達も問題なく運用できており、ワークショップにおいては、幼稚園児の利用に関して良いアイデアが積極的に出され、とても楽しそうに議論してくれた姿が印象的だった。

今後の展望

今回は、幼稚園児が安全安心に情報端末を活用できる環境整備を行ったが、今後は学習効果の高い活用ができるような対応をしていきたい。特に、幼稚園での導入の目的である、小学校へのシームレスな接続のために、ひらがな等の学習の支援を実施して予定である。

また、今後、各都道府県で、古い端末の処分に困ると想像するが、今回の取組が、古い端末の良い活用方法の参考になることを願っている。

謝辞

ヒアリング調査に応じてくださった三浦教育長はじめ教育委員会の皆様、幼稚園との調整等の協力をしてくださった教育委員会沼島未佳さん、多方面でご指導頂いた海部小学校溝内正剛先生、海陽幼稚園の皆さま、慶應義塾大学砂原秀樹先生、加藤大弥先生に感謝申し上げます。